

平成26年第4回 区議会定例会 区長挨拶要旨

平成26年第4回区議会定例会の開催に当たりまして、挨拶を申し上げます。

平成26年もあと1か月余りとなりました。この間、区政は、区議会並びに区民の皆様との連携・協働によりまして、順調に推移をしております。深く感謝を申し上げます。

まず、はじめに、「区民と区長との意見交換会」について申し上げます。

去る10月20日、23日、25日の3日間にわたり、健康プラザをはじめとした3会場で開催し、合計175人の区民の皆さまに参加をいただきました。

今年度は、意見交換会のテーマを「みんなが主役！協働のまちづくり」とし、区民や事業者と協働してのまちづくり事例を紹介し、参加した方々から防災や福祉、教育等、さまざまな分野にわたる多くのご意見やご要望をお伺いすることができました。

また、多くのご意見をお聴きする中で、みんなで力を合わせて「地域をより住みやすくしていこう」という区民の思いを改めて強く認識いたしました。

今後も、意見交換会に限らず、さまざまな形で区民の声をお聴きする機会を設け、「区民第一」「現場第一」を基本姿勢とした区政運営を進めてまいります。

次に、11月22日、23日の2日間、新小岩公園において区内で初めて行われた「かつしかフードフェスタ2014」についてです。

このイベントは、「Re-visit（リ・ビジット）」をテーマとし、本区の「食文化」の情報発信を通じて区内商店の活性化や観光資源の創出を目指したものです。当日は、区内外から71,000人の方々にご来場いただきました。

今後、実施結果を十分に分析し、葛飾の魅力をもさまざまな形で区内外に発信してまいります。

次に、わが国の経済についてです。

景気は、個人消費の持ち直しの動きに足踏みが見られるなど、このところ弱さが見られますが、緩やかな回復基調が続いています。また、先行きについても、雇用・所得環境の改善や経済対策の浸透などにより、景気の回復基調が続くことが期待されています。

しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振

れが、引き続き景気を下押しするリスクとして存在することから、今後とも景気動向を注視してまいります。

こうした中、今定例会において「平成 26 年度第三次補正予算案」を提案させていただいております。

補正予算の主な項目ですが、防災性向上のための密集住宅市街地整備促進事業による道路拡幅用地取得費や、東京、大阪、静岡で行われた「キャプテン翼展」の展示品購入費を計上したほか、東京都の制度を活用した保育従事職員等処遇改善事業などを実施してまいります。

また、平成 27 年 4 月に開設を予定している保健所の「健康総合相談窓口」にかかる準備経費や、小菅・高砂保健センターの移転経費を計上するとともに、新小岩保健センターの仮庁舎借上げに向けた、債務負担行為の設定を行います。

以下、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現するための「重点施策及び重点事業」について概略を申し上げます。

第一に「子どもが健やかに育つまちづくり」の「子育て環境の充実」について申し上げます。

まず、子育て支援施設の更新についてです。

現在、子育て支援施設の整備方針に基づき、施設更新の取組みを進めているところです。本年第 2 回定例会では「新小岩児童館・保育園」を、第 3 回定例会では「本田保育園」を更新することを報告いたしました。

更に、今回、「亀が岡保育園」について、施設更新を進めていく方針を取りまとめました。

保育園の更新にあたりましては、建設と運営の主体となる民間事業者を公募により選定してまいります。今後も保護者をはじめ、地元住民や関係機関とも十分協議を行いながら、良好な子育て環境の提供に向けて、全力で進めてまいります。

次に、「子ども・子育て支援新制度」についてです。

平成 27 年 4 月に本格実施される「子ども・子育て支援新制度」に向けて、まさに最終段階に入ったところでございますが、国の制度の詳細がまだ決まっていない状況です。そ

のため、本区としましても、今後、利用者負担額などを決定していくこととなりますが、保護者に対しましては、「子ども・子育て支援新制度」について十分な説明を行い、混乱が生じないように努めてまいります。

また、現在、平成 27 年度からの 5 年間の 1 期とする「子ども・子育て支援事業計画」を策定中でございます。去る 10 月にパブリックコメントを実施し、このたび、いただいたご意見と区の考え方の取りまとめをいたしました。今後、所管委員会でご報告させていただくとともに、来年 3 月の策定に向け、引き続き「子ども・子育て会議」での検討や東京都との協議を進めてまいります。

次に、「教育環境の充実」について申し上げます。

「かつしか教育プラン 2014」の「かつしかっ子宣言」です。

11 月 8 日に東京理科大学ホールにおいて「かつしかっ子宣言シンポジウム」を開催いたしました。この半年間で全小・中学校において取り組んできたことを 5 校の児童・生徒が代表して発表いたしました。

その中で「あいさつで心をつなぎます」について、小学校で児童会組織を中心に「朝のあいさつ運動」が展開され、地域からも学校外でのあいさつが良くできているという評価をいただいております。また、「仲間と力を合わせます」では運動会で一生懸命協力する姿や、「人にやさしくします」では児童がいじめについて標語をつくるなど、それぞれの学校が具体的、意欲的に取り組んでいます。

今後も全小・中学校での「かつしかっ子宣言」の取組みを引き続き推進してまいります。

第二に「健康でともに支えあうまちづくり」について申し上げます。

まず、病院誘致の取組み状況です。

病院の建設工事に先立ち、8 月から取り掛かっている旧松上小学校校舎などの解体工事は、現在、躯体の解体を行っており、おおむね順調に進んでいるところです。

去る 10 月 8 日には、第二回目の住民説明会を開催し、現時点における新たな病院の設計プランとして、高さ約 39 メートル、地上 8 階建て、延べ床面積約 15,000 平方メートルの建物を敷地南側に建設するといった計画などを、地域の皆さまにご説明いたしました。

今後も、安全に十分配慮し、工事を進めるのはもちろんのこと、医療法人社団明芳会と

連携し、地域の皆さまへの情報提供を丁寧に行ない、平成 28 年度中の病院開設に向けて着実に進めてまいります。

次に、新小岩保健センターについてです。

新小岩保健センターにつきましては、地域保健サービスの向上を目指してより使いやすい施設とするため、新たな複合施設に移転する計画の検討を進めています。

一方、現施設は、耐震診断の結果を踏まえ、新たな複合施設が建設されるまでの間、乳幼児健診等については、近隣の地域コミュニティ施設で実施し、事務室は現在の敷地内に仮庁舎を設置することとし、本定例会に所要経費を予算計上したところでございます。

次に、介護保険サービス基盤の整備についてであります。

現在、本区では、第 5 期介護保険事業計画に基づき、介護保険サービス基盤の整備を進めております。

認知症高齢者グループホーム「たまごかけごはん」は、建設資材の確保等に時間を要し、竣工が遅れておりましたが、11 月 1 日に開設いたしました。

これにより、区内の認知症高齢者グループホームは 28 か所、総定員 486 人となり、入所資格のある要支援 2 以上の認定を受けた方に対する認知症高齢者グループホームの定員数、いわゆる施設整備率は 23 区で 3 位となります。

今後とも、高齢者が地域で安心して生活できるよう、介護施設の整備促進と居宅サービスの充実を図ってまいります。

次に、「スポーツ事業の推進」についてです。

多世代との交流や地域におけるコミュニティづくり、さらには家族でスポーツに親しむことやスポーツによる元気なまちづくりの推進を目的に、子どもから高齢者まで区民の誰もが参加できる「かつしかふれあいRUNフェスタ」を平成 27 年 3 月 8 日に荒川河川敷で開催いたします。

10 月 1 日から区民の先行エントリーを皮切りに、11 月 4 日からは一般の受付を開始しておりますが、誰もが楽しむランニングの「ふれあい健康RUN（ラン）」種目の一部では、すでに定員を超える申込みをいただき、エントリーを締切とするなど、順調に申込みが進んでいます。区民をはじめ多くの皆さまが、スポーツに親しみ、楽しみ、集う、大きなマラソンイベン

トになるものと期待しております。

このイベントでは、6,000人を超える方々の参加を見込んでおります。また、区民には、参加者としてだけでなく、運営スタッフや応援者として、また、親子ラン、ファミリーランといった、まさしく「ふれあい」を中心としてスポーツに親しむ形で参加できる機会を設けています。メイン会場となる堀切水辺公園には、ステージやブースなどを設置し、地域団体や地元商店街などが、さまざまな演出を行うなど、区と地域が協働して運営してまいります。

第三に「安全・安心なまちづくり」について申し上げます。

まず、「平成26年度葛飾区総合防災訓練」についてです。

今年度は、11月9日に立石・青戸の2会場で実施いたしました。

さらに、区で初めてのいっせい防災行動訓練（シェイクアウト訓練）も10月20日から11月9日の間に行ないました。

立石会場では、立石中学校、清和小学校を中心に、避難所開設訓練や、警察による道路啓開、消防による一斉放水、さらに陸上自衛隊による炊き出しなどの防災関係機関による訓練や、起震車などの体験訓練を実施しました。

青戸会場では、緊急医療救護所である青戸小学校と、災害拠点病院である東京慈恵会医科大学葛飾医療センターの災害時における医療活動連携訓練や、学校避難所開設訓練、消防署・消防団によるゴムボートを活用した患者の搬送や放水訓練などを実施しました。

参加者は、立石会場で550人、青戸会場で600人、いっせい防災行動訓練の参加者は、延べ13,630人で、多くの区民をはじめ防災関係機関の協力のもと、大変有意義な訓練を実施することができました。

次に、本区の公共交通についての取組みです。

本年8月に地下鉄8・11号線の延伸について、平成27年度の交通政策審議会の次期答申に向け、太田昭宏国土交通大臣に要望活動を行ったところです。これに続き、去る10月2日、「地下鉄8・11号線促進連絡協議会」の活動として、会長区である葛飾区のほか、江東区、墨田区、松戸市とともに、舛添要一東京都知事にお会いし、早期実現に向けた要望書を提出してまいりました。

都知事には、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として是非とも早期に整備すべき路線であることや、湾岸部と23区東部地域のアクセスを向上させ

る路線として、また、東京の発展において重要な路線である旨をお話しし、東京都も3区1市と連携して取り組んでいただくよう要望いたしました。

地下鉄8・11号線の延伸につきまして、国土交通大臣、東京都知事など、関係機関に対して積極的な要望活動を行っているところですが、環七高速鉄道などの公共交通、さらには街づくり事業全般についても、国や東京都などの関係機関との連携を図りながら、事業を推進してまいります。

次に、「新小岩駅東北ひろばまつり2014」の開催についてです。

平成23年3月に供用開始となりました新小岩駅東北広場は、スカイツリー経由浅草寿町行きや篠崎駅・江戸川スポーツランド行きのバス路線が加わり、また、今年度は電気自動車の充電スタンドや図書返却ポストなどを設置して充実を図ってまいりました。

これらに加え、地元の新小岩北地域まちづくり協議会は、さらなる新小岩駅東北広場の活性化のために、「新小岩駅東北ひろばまつり2014」と題したイベントを12月6日に開催いたします。

このイベントは、東北広場とスカイデッキたつみを活用して行われるもので、本田消防署や消防団の協力を得た防災訓練の実施やフリーマーケット、音楽の演奏など、多くの方々に楽しんでいただけるイベントとなっております。

今後も、地元のまちづくり協議会と協働で東北広場の有効的な活用や賑わいを創出してまいります。

次に、「放置自転車対策」についてです。

平成25年度の区内の放置自転車数は一日平均2,111台で、この10年間で約60%の削減を図ることができました。今年度からは、新小岩駅周辺地域において、指導誘導から撤去搬送、保管所の管理業務を一括委託する放置自転車対策事業を導入し、駅周辺の歩行空間の確保とマナー向上に積極的に取り組んでいるところです。

この結果、通勤・通学における放置自転車対策は一定の成果をあげておりますが、近年は買い物客や飲食、お店の従業員等による放置自転車が問題になっております。これには、短時間無料の民間自転車駐車場の設置が有効で、区では平成23年度から民間自転車駐車場に対する助成事業を開始し、これまで12か所、1,876台の民間自転車駐車場を誘致してまいりました。

今後、更なる誘致を拡大するため、無料の自転車置場の見直しや、周辺環境や施設の特性等に応じた区営の自転車駐車場料金の見直しについても検討し、放置自転車対策を強化してまいります。

第四に「魅力と活力あふれるまちづくり」について申し上げます。

まず、「区内産業の振興」についてです。

平成 27 年 2 月 12、13 日の二日間にかけて、区で初めての産業見本市であります「町工場見本市」を東京国際フォーラムで開催いたします。区内企業の他に近隣自治体にも協力を働きかけ、11 月 1 日現在、区内企業 70 社、区外企業 40 社、合わせて 110 社程度の出展を予定しています。

この産業見本市は、出展企業の P R の場であり、顧客開拓をはじめ、新製品の P R、技術提携先の発掘や情報収集など幅広い活動を行うことができます。見本市への出展を通じて、出展企業には、新たな取引先の獲得はもとより、商品力の向上、商談スキルの習得、マーケティング力の強化などによる、総合的な企業体質の強化に役立てていただき、地域産業の活性化に結び付けてまいります。

次に「観光振興」についてです。

本年 6 月から上野の森美術館などで開催された「キャプテン翼展」の展示品を葛飾区内で展示するため、主催者と調整を行ない、譲り受けることといたしました。

今後は、商店街イベントでの活用をはじめ、区有施設での常設展示など、こうした展示品を最大限活用し、『キャプテン翼』ゆかりのまちかつしか」を区内外に一層 P R してまいります。

第五に「人にやさしく住みよいまちづくり」について申し上げます。

清掃事業についてでございますが、平成 25 年度に「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」が施行されて以降、区では、粗大ごみとして排出された小型家電は選別し再資源化してきました。

しかし、燃やさないごみとして排出された小型家電については、中間処理施設で鉄とアルミを回収していますが、その他の金属類はそのまま埋め立てている状況です。

そのため、本年 12 月より、区内 6 か所に専用の回収ボックスを設置し、燃やさないご

みとして排出されている携帯電話や携帯用音楽プレーヤー、デジタルカメラなど、特に有用な金属が含まれる家庭で不用となった小型家電の回収を開始します。

回収した小型家電は、再資源化について国の認定を受けている事業者に売却し、鉄やアルミだけでなく、金・銀・銅やレアメタルなどの金属類も再資源化してまいります。

最後に、国際交流についてです。

まず、オーストリア共和国ウィーン市フロリズドルフ区への訪問についてご報告いたします。

ご承知のとおり、葛飾区とウィーン市フロリズドルフ区は、昭和 62 年 11 月に本議場において友好都市提携をし、最近では、青少年を中心とした交流事業を行っております。

去る 10 月 27 日から 11 月 1 日の日程で、私は秋家区議会議長と共にフロリズドルフ区を訪問し、現地では、本年 3 月に新たにフロリズドルフ区長に就任したゲオルク・パパイ区長をはじめとする皆さまにお会いし、大変、温かい歓迎を受けました。

パパイ区長とは、教育・観光・福祉・住宅事情など両区のさまざまな行政課題について、現地をご案内いただき、併せて意見交換をいたしました。

また、今回の訪問で「葛飾区・フロリズドルフ区 友好都市提携に関する確認書」を取り交わしました。両区は離れた地にあるものの、これからも相互に理解を深め、これまでの交流で築いた絆を紡ぎつつ、さらに友情の絆を強めていくことを改めて確認したところでございます。

そのほか、ハインツ・レーナー前区長をはじめ、ウィーン市観光局長、ウィーン市議会議長、ほか視察先等でお目にかかった皆さまとの会談を通じ、多くの知見を得ることができました。

レーナー前区長は、平成 6 年 2 月から本年 3 月の在任期間中の平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生した際、いち早く、多くのフロリズドルフ区民や在留邦人と協力し街頭募金などを行ない、在オーストリア日本大使館に寄託いたしました。それに応えて、平成 23 年第 2 回定例会において「ウィーン市フロリズドルフ区の東日本大震災義援金に対して深い謝意を表する決議」がなされたことは、強く記憶に残っているところです。

これまでの両区・両国の友好交流における功績を称え、「自治功労者特別表彰」をお渡しいたしました。

次に、中華人民共和国北京市豊台区についてです。

北京市豊台区とは、平成4年11月に「葛飾区友好区提携訪中団」を派遣し「友好交流・協力に関する協定書」に調印いたしました。以降、文化、産業、スポーツなど様々な分野及び年代で友好交流を重ねてまいりました。

最近の友好訪問団の受入では、北京市豊台区野球・ソフトボールスポーツ学校長が率いる豊台区野球チームと青戸中学校野球部が交流試合や合同練習を行うなど、両区の交流が次代を担う青少年にとっても身近なものとなりつつあります。

今年8月には、私が豊台区を訪問した際には、冀岩（きがん）区長や副区長、関係者の皆さまの大歓迎を受けたところであります。このたび、本区と豊台区との長年にわたる友好交流が中国の国際交流に大いに貢献していると評価され、中国広州市において開催される「2014年中国国際友好都市大会」において、大会主催者の中国人民対外友好協会及び中国国際友好都市連合会から、モデル友好都市として表彰されることとなりました。

これまで、区議会や関係者の皆さまとともに本区と豊台区が積み重ねてきた友好交流の成果として、大変喜ばしく名誉なことと思っております。

同大会は、本日より3日間の日程のため、代理を出席させ、豊台区と共に表彰を受けてまいります。

今後とも、引き続き豊台区との友情を深め、両区の友好交流事業が他の都市のモデルとなるよう努めてまいります。

最後に、大韓民国ソウル特別市麻浦区についてです。

今月の17日から20日の日程でソウル特別市麻浦区よりキム・ギョンハン麻浦区副区庁長をはじめとする「麻浦中央図書館および青少年教育センター推進団」が来訪しました。

麻浦区は、図書館の建設を計画しており、本区の図書館を参考にしたいとのことで、中央図書館や東京理科大学の図書館を視察しました。

本区といたしましても可能な限り協力するとともに、今回も区議会の協力をいただきながら表敬訪問や意見交換の機会も作りました。

今後も良好な友好関係が築けるよう努めてまいります。

以上、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向けた平成26年度当初予算における主要事業の進捗状況を中心に申し上げました。

その他、本定例会にご提案を申し上げます案件につきましては、上程の折に主管者から詳細にわたりご説明をさせていただきますので、よろしくご決定を賜りますようお願い申しあげまして、平成 26 年第 4 回区議会定例会の開催に当たりましての私の挨拶とさせていただきます。